

宮城県仙台東高等学校におけるオンラインによる国際交流の事例

他機関との連携による取組み

本校では毎年11月上旬に「グローバルウィーク」を設定し、学校全体で国際理解に関する意識を高揚させる行事を設定している。ここ数年、本校から台湾の大学への進学者が発生していることもあり、今年度は宮城県国際政策課、経済商工観光部、宮城教育旅行支援センターとの連携により台湾の高校生とのオンライン交流を行うこととなった。本来は年度末に「海外研修」を計画しているが、渡航不能な中でも交流は継続させたい。

【プログラムの内容】

○オンラインでできる交流

- ・相互の国、文化の紹介・・・それぞれの国の持つ衣食住などの文化や歴史的背景について、可能な限り英語で紹介。その後質疑と応答。
- ・相互の学校についての紹介・・・学校行事、制服、校舎、教室等現在お互いが学んでいる環境の紹介とバーチャルでの校地散策と紹介。
- ・共通のテーマについての討論(環境問題、SDGs等)

【工夫した点】

- 時差による時間調整と、お互いの時間割の中でうまくマッチングできる日程・時程の設定。ハウリングをさせず、かつ最大限に利用出来るICT環境の構築。

【今後の課題】

- 一過性のものにならないよう、留学意欲や異文化理解への意欲が継続するよう計画する。
- 年間を通しての、交流できる日の設定とICT環境の整備・増設

【経緯】

2021年10月	国際政策課、経済商工観光部、教育旅行支援センターより依頼
2021年11月	台南学校関係者とのオンラインミーティング、プログラム内容検討
2022年1月	事前通信と本校生徒への事前指導とスタッフ打ち合わせ 第1回交流、分析と反省
2022年2月	第2回交流、分析と反省

